

## 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 17 日

所属	基盤教育機構	職名	助教	氏名	赤木 茅
研究課題	インボイスデータ等会計情報を活用した SNA の構築に関する研究				
研究キーワード	e-invoice, Real-Time Economy, SNA, EBPM, X-road	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連する SDGs 項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	8. 働きがいも経済成長も	1. 貧困をなくそう	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

昨年度「産業連関」に投稿した SNA の自動推計に関する論文の査読処理が終了し、掲載された。現行の日本の統計推計における更新の遅さを解決するための諸課題に関する調査及びその対処法に関する提案をまとめ、環太平洋産業連関分析学会 全国大会において報告した。

The 7th International Conference on Economic Structures においてセッション”Challenging Real-time Economy through IO Techniques”を企画し、インボイスデータの SNA における利活用に関する研究を取りまとめた。個人の研究としては、インボイスデータから産業連関表が推計可能であることを数理的に示し、会計データの新たな利活用手法を提案した。

その他、特別講義データサイエンスにおける教育活動として、論文を取りまとめ 人工知能学会及び計測自動制御学会において報告した。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

## 【論文（査読あり）】

赤木 茅, ”経済センサス個票を用いた産業別商品産出表(V 表)の推計-供給表推計システムのプロトタイプ開発”, 産業連関—イノベーション&I-O テクニク 第 30 巻第 1 号, 2022/08/22

## 【学会発表等】

赤木 茅, ”経済統計推計の自動化とその課題”, 環太平洋産業連関分析学会 2022 全国大会, 2022/10/29

Kaya Akagi, “What does e-invoice data bring to SNA and Real-Time Economy?”, ICES2023 @Housei University, 2023/03/19

赤木 茅, 江草遼平, 寺野隆雄, 橋本隆子, “文系学生の情報基礎教育における授業形態の分析 ~数理・AI・データサイエンス教育の充実を目指して~”, 人工知能学会 SIG-BI 第 22 回 ビジネス・インフォマティクス研究会, 2023/03/05

宮田香月, 赤木 茅, 江草遼平, 寺野隆雄, “ヒットチャートと楽譜データに基づく日本の年代別流行曲のクラスタリング”, 人工知能学会 SIG-BI 第 22 回 ビジネス・インフォマティクス研究会, 2023/03/05

初鹿 亘, 赤木 茅, 江草遼平, 寺野隆雄, “オンデマンド授業における学生成績の二極化傾向の分析 -千葉商科大学の事例-”, 人工知能学会 SIG-BI 第 22 回 ビジネス・インフォマティクス研究会, 2023/03/04

大井航太, 橋本隆子, 赤木 茅, 寺野隆雄, 江草遼平, “企業の SDGs の取り組み量推定を用いた財務情報分析法の検討”, 計測自動制御学会 第 31 回 社会システム部会, 2023/03/07

## 3. 主な経費

学会の年会費, 参加費, 移動費用のほか, 関連書籍の購入や文具代に使用した。

(本文は2ページ以内にまとめること)